

平成 27 年度  
議会報告会報告書

平成 27 年 8 月  
庄原市議会

# 目 次

## 平成 27 年度庄原市議会報告会

1. 開催の目的	1
2. 開催地区、開催日時及び参加者数	1
3. 議会報告会 次第	2
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答	
(1) 木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について	3
(2) 国民健康保険税の引き上げについて	13
(3) 意見交換（地域別テーマ）について	17
6. 意見・要望等	
(1) 議会へ対する質疑・意見・要望	22
(2) 行政へ対する質疑・意見・要望	23
7. 今年度議会報告会の検証結果	24

# 平成 27 年度庄原市議会報告会

## 1. 開催の目的

市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催するよう努めるため。

(庄原市議会基本条例第5条第3項)

## 2. 開催地区、開催日時及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会 場	参加者数	担当班
庄原	庄原	7月6日(月)	19:00~21:00	庄原市ふれあいセンター	28	1
	高	7月21日(月)	19:00~20:30	高自治振興センター	15	2
	本村	7月17日(金)	19:00~21:10	本村自治振興センター	22	3
	峰田	7月10日(金)	18:00~19:30	峰田自治振興センター	26	4
	敷信	7月7日(火)	19:00~20:38	敷信地区民ふれあい広場	14	5
	東	7月7日(火)	19:00~21:00	東自治振興センター	55	1
	山内	7月24日(金)	19:00~20:30	山内自治振興センター	10	2
	北	7月23日(木)	19:00~21:00	北自治振興センター	9	3
西城	西城	7月15日(水)	19:00~21:15	西城自治振興センター	18	4
	八銚	7月8日(火)	19:00~20:50	八銚自治振興センター	12	5
東城	東城	7月9日(木)	19:00~21:00	東城支所	19	1
	小奴可	7月22日(水)	19:00~20:40	小奴可自治振興センター	11	2
	八幡	7月7日(火)	19:30~21:30	八幡自治振興センター	32	3
	田森	7月9日(木)	19:00~21:00	田森自治振興センター	14	4
	帝釈	7月14日(火)	19:00~20:35	帝釈自治振興センター	25	5
	久代	7月8日(水)	19:00~21:00	久代自治振興センター	23	1
	新坂	7月13日(月)	19:00~20:30	新坂自治振興センター	15	2
口和	7月14日(火)	19:00~21:15	口和自治振興センター	13	3	
高野	7月3日(金)	19:00~21:00	下高自治振興センター	5	4	
比和	7月23日(木)	19:00~19:53	比和自治振興センター	13	5	
総領	7月21日(火)	19:00~20:30	総領自治振興センター	31	1	
庄原	7月12日(日)	10:30~12:00	ジョイフルながえ	18	特1	
		14:00~16:00		18	特2	
合 計				22会場	446	

〔前年度までの状況〕

平成 23 年度	7月1日~21日	原則 19:00~21:00	22 会場	488	全8班
平成 24 年度	7月3日~20日	原則 19:00~21:00	21 会場	369	全8班
平成 25 年度	7月3日~18日	原則 19:00~21:00	21 会場	328	全5班
平成 26 年度	7月3日~18日	原則 19:00~21:00	21 会場	430	全5班

### 3. 議会報告会 次第

- (1) 開会あいさつ
- (2) 報告・質疑・意見交換
  - ① 木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について
  - ② 国民健康保険税の引き上げについて
  - ③ 意見交換（地域別テーマ）
- (3) 閉会あいさつ

### 4. 班編成

班	総務財政常任委員	教育民生常任委員	産業建設常任委員
1班	◎五島 誠 宇江田豊彦	吉方明美	門脇俊照
2班	◎垣内秀孝	林 高正 福山権二	八谷文策
3班	◎岡村信吉	田中五郎	竹内光義※ 政野 太
4班	松浦 昇	◎横路政之	谷口隆明 坂本義明
5班	赤木忠徳	近藤久子	◎徳永泰臣

特別1班	◎堀井秀昭(議長) 八谷文策 門脇俊照 垣内秀孝 岡村信吉 林高正 松浦昇 徳永泰臣 吉方明美 五島誠		
特別2班	◎福山権二(副議長) 谷口隆明 宇江田豊彦 竹内光義 赤木忠徳 田中五郎 横路政之 坂本義明 近藤久子 政野太		

◎：班長

報告内容は前年度のものであるため、全年度の所属委員会により班編成を行った。

※ 竹内議員は前年度議長のため所属委員会なし。堀井議長の前年度所属委員会へ。

## 5. 報告事項に対する質疑応答

### (1) 木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について

質疑・意見	会場での回答
<p>この補助事業について県は関与していない。県は専門職があり、審査できる。昨年は、光ファイバーについての説明があり、誰が審査するのかを聞いたが、答弁はなかった。市の職員にその能力がないのではないか。</p>	<p>NPO法人日本動産鑑定に依頼し、調査をしてもらった。その結果不正が判明した。専門家の意見を入れなければならないと思う。</p>
<p>市民感情として市財政から国へ返還したのはいかがなものかと思う。納得できない。市及び議会（チェックする立場として）は、責任を明らかにすべき。返還を強く求める。責任を分担すべき。全国的にも事例がある。どう考えているのか。</p>	<p>現在取立て中であるので、今の段階では結論は言えない。建屋、機械を競売にかけているが、いくら回収できるか不透明。特別委員会として最終的結論は出せない。</p>
<p>最終結論はいつ頃出るのか。</p>	<p>グリーンケミカルからどれだけ取れるかによって違ってくる。市に責任があると思っている。議会としても責任を感じている。</p>
<p>まだ結論が出ていないようだが、市民に負担のかからないようにしてほしい。市長自らの責任ではないとの報告と受け取れるが、不信を抱いている。執行者の出方によって議会对応するように聞こえる。早急にまとめて市民へ報告してほしい。全般的な事業について、議会はしっかりチェックをしてほしい。議会の責任もきちんとしてほしい。</p>	<p>市の損害額が確定していないので結論は出せない。議会として独自の責任の取り方を明らかにせよとのことだが、途中で何回か議決の場があったが、できなかった。</p>
<p>この事業は、いつごろから話が出たのか。</p>	<p>平成17年ごろからである。</p>
<p>議会は責任逃れをするな。情けない。</p>	<p>責任問題については完結していない。待ってほしい。</p>
<p>なぜ、この事業に着手しなくてはならなかったのか。</p>	<p>市長から議会へ提案があったのは、ほとんど決定した段階だった。森林の整備と産業振興のため、集積場・製材所の整備でペレットを作るということだった。これができなかったため、エタノール製造に変わった。</p>
<p>前市長が事業推進することについて、議会は全権委任した形で、執行者の説明を丸呑みした。一蓮托生ではないか。日本のどこで成功していたのか。全く前例がなかったのではないか。エタノール事業などは行われていなかった。庄原が手を挙げたことが理解できない。実績のない企業であることに危機感を持たなかったのか。</p>	<p>全国で、200カ所くらいでやっていたが、成功した例はない。当時はさとうきび、ビート、米まで燃料にしようというくらい燃料不足だった。トンネル事業だから迷惑をかけることはないとの説明があった。市の工事などするとき、事前の調査をするのだが、この件についてはしていなかった。見抜けなかった。</p>

<p>稼働さえしていないものが中止とは聞いたことがない。前市長は辞める、提案した執行部と議会の責任は大きい。チェックができない議会はつまらない。なぜ、市民が尻拭いをしなければならないのか。今回、住民監査請求をした。棄却された。悪かったのは市民なのか。議会はアリバイづくりが上手だ。議会の意味がない。</p>	<p>市を二分するような課題ではなかったが、後悔はある。議会は能力不足だったことを痛感する。議決責任は大きかった。</p>
<p>大きな問題だ。今の発言は許されない。議会との意見交換をしていなかったことに、市民の責任もあると感じる。100条委員会設置を出したが、何の返答もなかった。行政の責任はないと言われた。行政も議会も責任はある。</p>	
<p>この事件はNHKの女性記者が取り上げた。全協、本会議を傍聴してきた。市長を選んだ責任、議員を選んだ責任とも市民である。無責任な市民が多い。議会傍聴する市民が少なかった。市民のとする態度は限られている。司法の場で決着するしかない。滝口前市長、市長、議長が頭を下げてでも解決しない。今回、住民監査請求を出した13名を支えるしかないのではないのか。特別委員会ですっかり議論してほしい。</p>	
<p>住民監査請求は中身が重い。責任を取ろうという話が出ていないのか。中間報告とあるが、今からどのようなまとめになるのか。</p>	<p>グリーンケミカルから1円でも多く回収してから、議会責任について明らかにする。時期については不明である。</p>
<p>再び市が事業者を決めて、事業提案するようなことがあっても議会は承認しないか。</p>	<p>承認しない。まったく新しい事業なら別である。</p>
<p>何がどうなった時に事件の終わりとなるのか。</p>	<p>グリーンケミカルからいくら回収できて、議会の責任はどこにあったかを明らかにできた時だ。時期については不明である。</p>
<p>監査請求は棄却となったが、どうなるのか。</p>	<p>裁判が予想されるが、この結果を見て議会の動きがあるだろう。</p>
<p>先のことについては、議会を信頼してお任せする。</p>	
<p>執行者に責任があるように書いてあるが、議会として問責決議を出されたことがあるのか。職員についても懲戒処分などの例がある。大きいものは問うが、小さいものは見逃すというのはいかがなものか。OBとして残念だ。</p>	<p>報告書には載っていないが、このような議論がなされた経過はある。現在、債権者破産申告の途中であり、1円でも多く回収しようとしている。職員についての問責などについての議論は出ていない。</p>
	<p>前市長は、給料の1か月分をカットするという条例を提案してきた。議会は否決した。1か月分の給料をカットすることで責任を取ったと</p>

	<p>というのは不十分である。なぜ、この問題が起きたかということをはっきりさせることが大切であるとの理由だ。また、問責決議については、市長に対して出すことはあるが、職員に対して出すということは議会としてはない。</p>
<p>これだけの大きな事業をすると執行者から提案された時、議会は視察・調査などをされるが、どれだけのことをしたのか。問題がここまで大きくなったということは、任せすぎたのではないか。国の予算だからということで、安易に考えていたのではないか。議会は市民の代表なのか、市長の応援団なのかかわからない。チェック機関であれば、工業団地へ足を運ぶとか真庭へ視察に行くとかの調査が必要だった。見る目がなかったと書いてあるが、そのために政務調査費などがあるのであり、無責任だと思う。</p>	<p>その通りだと思う。その時の時代背景を考えると、エネルギー不足を言われていた。山林からエネルギーができるのなら強い思いを持っていたのも事実だ。エタノールについては無知だった。県も農水省もなかった。農水省管轄で180自治体ではほとんど成功例がなかった。大学の教授でさえ、実験だったらできるが大量生産はできないと言っていた。企業への調査権はないので、執行者からの説明を信用するしかなかった。議会の責任もあるが、国へ対しても責任があることを言わせてもらっている。最終結論はまだ先になる。</p>
<p>監査請求が出たが、議会は却下された。断る必要はなかった。もう一回監査しようとなぜならなかったのか。また、ジュオンとグリーンケミカルから1円でも多く取り返すとしているが、企業の財産等調査できないのか。国は知らん顔をしている、庄原市だけ損をする。保険料も上がる、水道料も、ごみの袋代は、東城町は3倍も4倍にもなった。議会は市民の代表だといふのであれば監査請求をなぜ断ったのか。</p>	<p>監査委員会は独立した機関である。議会から監査委員会へたいして、こうすべきだったということは言えない。監査結果についての意見を求めることはできる。</p>
<p>議会から監査委員を出しているではないか。なぜ出しているのか。</p>	<p>監査委員会については議会の中で議論がある。外部監査を入れるべきではないかなど。客観的な見方をするには身内を入れずに外部監査を入れるべきと話をしたが、経費の面で執行者は難色を示した。市長選任、議会選出の監査委員が出ており、最終的には議会の同意を得るようになっている。議会選出の監査委員は市民の声を咀嚼してほしいとの意見があったことは伝えておく。よくわかる。</p>
	<p>グリーンケミカルの破産報告集会が開かれた。同社の財産は4,360万円であることが判明した。庄原市がこの金をすべて回収することにはならないが、配当順位を上げるよう地裁へ対して要望している。土地、工場、プラント等々、今年中には競売になるだろうとの見通しを立て</p>

	ている。
滝口市長が退任される最後の議会で、自分の給料の2か月分を返納するということを提案されたとのことを新聞で読んだ。議会はそれを受理していないということだがなぜか。	返納について認めなかった。返納するくらいでは許されないという理由だ。問題点を明らかにするのが優先だという意見もあった。返納で責任を取ったというのでは不十分だということだ。
2カ月分でも返納を受け取り、今後も追及していけばいいのではないか。議員も議員報酬を返納するか、200万円か300万円を返納しようと提案したが、議会では否決されたそうだが、なぜか。	その時点では事件の概要が不明瞭であったので否決した。
大金を払う事態になっているのに議員自ら身を切らなければならないのではないか。	全ての責任を取るということになれば、例えば、学校を建てててすぐ休校になった時なども同様となるが、実際はそうならない。
ジュオンの資産証明、納税証明、決算書をとっているかなどを議会はチェックしているのか。これをやっていたらこのようなことになっていなかった。ジュオンは7億、8億の負債を2年連続で抱えていた会社だった。この会社は倒産すると言われていた会社だった。議員は勉強不足だった。市民1戸当たり2万数千円の負担を負うことになる。	当時、山林の活用をどうするか、環境問題が課題となっており、また、雇用も確保できると思っていた。我々が決算書だけで判断したのが甘かった。
市民に2億4千万円を絶対にかぶせるようなことはしないでほしい。チェック機能が働かなかったということだ。	真摯に受け止めさせていただく。
先ほどテレビで見てきたのだが、何か提訴するとの報道があった。風化してくるのではないかと思う。何もなかったようにならないようにしてほしい。早く決着するようにしてほしい。	この意見を持ち帰り、ほかの議員にも伝えたい。
議員から聞いた話だが、工業団地にエタノール実験棟があるそうだが、エタノールを実験しているときに見に行った。社員は寝袋で寝泊まりしていた。実用化できるのかと聞いたら、「ええことにならんですよ」と言われた。できないことは東北大学の教授も言っていた。エタノールからリグニン、木粉、と事業変更をした。議員はこれを認めたのか。執行者に追従していたのではないか。止めようと議会で言ったのだが、議会は取り上げなかった。市長が「わしが責任を取るから、させてほしい」といったので賛成したと聞いた。	事業変更については議会への相談はなかった。あとから報告があった。議決をしたわけではない。意見を言われた議員はおられたが、議会決議、市長不信任などの具体的な議案として議員から発議されたことはない。

協定書締結の前に勉強会があった時、明治大学の先生がエタノールはできないと言っておられた。	
会社の内容について議会がどのように調査したのか。	議会としてはしていない。
庄原市として調査不足のまま出発したことにより事故ではないか。	トンネル補助金で、その補助金に対する責任は無と判断。バイオスタウン構想は庄原市のためになると判断した。
やはり初期調査をしっかりするべきでなかったか。	市長の発案に対して、これを否定するほどの材料はなかった。
第3者委員会の報告に、プラントが完成品でないとの報告があったとのことであるが本当か。また、現市長は、補助金の回収に努力するとの報告であったが本当か。	プラントのシステムが完成していないことが第3者委員会でわかった。補助金の回収については、破産管財人との間で行なっているが、見込みは薄い。
債権について、回収見込みのないものに対し、努力するということができるのか。	
公判記録を読んでいるのか。また、納入業者が見積もりを偽っていたとされるが、その会社に対して請求すべきではないのか。	
第3者委員会の結論を受けてとのことだが、第3者委員会委員の職種を知らせてほしい。	弁護士、県職員、市職員等である。
最初のバイオマス計画に対して見込み違いがあった点について、議会の責任はなかったのか。	当初の計画については、ジュオンの社長との対話で聞き取っていた。バイオスタウン計画については、先進地視察も行なった。
議会として、もう少し立ち入って調査すべきだったのではないか。	市長提案及び国の補助金審査を信じて賛成した。
議会でジュオンという会社をもっと調査すべきであったと思うが、どうか。	確かに、全て完全に調査できたとは言いきれない。
旧庄原市議会では、企業誘致に対し、もっと調査を実施し、問題は起きていなかった。新市となって、その点が甘かったのではないか。	
議会責任について、最終報告を行う時期は検討し、設定しているのか。	中間報告のとおり。最終報告の時期は未定である。現在、市長の債権回収が実行されており、現段階では、その結論を待つという判断が議会特別委員会の意思である。
事業の現状と経過を振り返ると、市行政がこの事業を開始したことが全ての責任の発端であり、議会も市長提案のこの事業に同意したのであるから、この事業開始決断の判断経過が重要になる。ここでの議会の検証、監視は不足したのではないか。	その視点での指摘については、議会として反論できない。ご指摘のとおりと答弁させていただくことになる。この事業を開始するときの国政も含めた環境対策、エネルギー転換企画の総論としては議会含めて、市民同意があったとは言える。この事業の基本視点には同意してきた。

<p>ジュオンに対する補助金はなぜ交付されたのか。さきほどの説明では、完全なものではなかったと説明されたが。</p>	<p>不完全なもので、機械は設置されていたが、製造ラインとなっていなかった。製品ができていなかった。</p>
<p>それを検査して、補助金を交付したのではないのか。</p>	<p>専門家が検査していなかったことによる失敗。税金を一般企業に渡す以上、もっとしっかりした検査を行うべきであった。議会としてのチェックもしていなかった。このことは議会としても責任を感じる。</p>
<p>そのことは、議会として、今後どのようなチェックをしていくのか。</p>	<p>庄原市の中で他の補助金もあるが、このようなことはないと思う。</p>
<p>民間企業では、このような場合、トップが責任をとるが、市としては、どうなのか。</p>	<p>市として、そのような責任のとりかたはない。</p>
<p>議会の責任についても追求すべきではないか。</p>	<p>議会で金銭的責任をとることはできない。</p>
<p>責任のとりかたについて、どのような話になったのか。</p>	<p>話をしてきたが、その責任のとりかたは出ていない。</p>
<p>操業もせずに補助金を支払うのはおかしい。</p>	<p>製品ができていないのに、補助金を支払ったことは不適切と思う。</p>
<p>だますほうは、それを考えているので、それにだまされた以上、誰かが責任を負うべきと考える。</p>	<p>これを大きな教訓として、今後、このようなことが起きないように、努力していくことが大切だと思う。議会は、全事業に対して、全てをチェックすることは不可能であり、執行者の善管注意義務を信じていきたいが、今後、このようなことが再発しないよう注意したい。</p>
<p>市役所職員も、全てのことにもう少し慎重になるべきではないか。</p>	<p>そのように努力すべきである。</p>
<p>ジュオンについては、それだけの金が動く以上、心を引き締めるべきではないか。もっとしっかりした答えを持ってきてほしい。</p>	
<p>バイオマスについては、しっかりとけじめをつけるべきではないか。</p>	
<p>特別委員会の最終報告は、いつ頃なのか。また、議会責任も含めて。</p>	<p>最終報告の中で、議会責任をしっかりと整理していく。</p>
<p>今回の重要事業を、なぜ職員だけで検証したのか。</p>	<p>今回の事例を反省して、今後は専門員を配置して再発防止に努める。</p>
<p>市財政から補助金返還を議会議決した議員に納得できない。そして、国会議員が「返還命令を求められても、返還する必要はない」と発言された事についてはどうなのか。</p>	<p>発言された内容については、議員としては答弁できない。今回は事業者に補助金適正化法違反が認められた為に、国から不適正分の返還を求められた。議会は補正予算の内容を審議し、一般財源での返還が適当であるとの修正案を可決した。</p>

<p>特別委員会の中間報告では、主要な原因は庄原市の執行管理の不十分性にあったと判断し、その責任は重大であると報告した。ならば、市民に謝罪する言葉が必要ではないか。</p>	<p>議会として、市民の声をしっかりと受け止めて再発防止に努める。</p>
<p>今回の失敗を反省して、市民の安心・安全のための事業施策を計画してほしい。</p>	<p>議会提案を検討して執行者しっかりと協議する。</p>
<p>議会として、今回の補助事業の結果を教訓に今後において、どのように事業検証して対策を考えるのか。</p>	<p>執行者の提案理由をしっかりと求めて、議会のチェック機能を十分に発揮する。</p>
<p>国からの補助金返還命令に対して、なぜ議会議決したのか。市民感覚としては納得できないし、本当に相手企業から債権回収ができるのか。</p>	<p>補助金適正化法違反が認められたため、国から不適正分の返還を求められた。執行者は返還額を補正予算で提案し、議会は財源を一般財源として返還する事が適当であるとして修正可決した。その後執行者は、相手企業に対して全ての財産を一括処理するため、破産申立を裁判所に申請した。不適正分の債権回収を強く継続していくとのことである。</p>
<p>バイオマスの利活用について、当初、庄原市としてバイオマスプラントの活用をどのように考えていたのか。</p>	<p>年間3万トンの木材を粉砕してエタノール製造を計画していたが、後日、リグニンの抽出、木粉とプラスチックを混ぜたもので新素材をつくる計画に変更した。</p>
<p>議会・市は、バイオマスプラント利活用事業について、どのように考えていたのか。また、採算がとれると思っていたのか。</p>	<p>山林の多い庄原市の間伐材を利用して、当初はエタノールで燃料を作る計画であったが、ガソリンと比較して割高になるということで、途中から事業の変更をし、リグニン抽出へと、最終的に木粉をプラスチックと混ぜた新素材へと変更された。</p>
<p>バイオマスプラントの設備を再利用する計画はないのか。</p>	<p>グリーンプレジール社が、実験的に稼動していたが、追加設備が必要であるということで、現時点の計画はない。</p>
<p>バイオマス事業の成功例はないのか。マスコミでは他市の成功例を聞くが。</p>	<p>近隣では真庭市の銘建工業のバイオマスがあるが、それは木材の端材でのバイオマス発電であり、庄原の場合とは異なる。</p>
<p>ジュオンの財務内容と調査について、また、責任の問題はどう考えているのか。ジュオンは当初から問題のある会社と言われていたではないか。</p>	
<p>前市長など、当事者から参考人として意見を聞いての特別委員会だったのか。裁判所へ出向いて調査を行い、特別委員会も開くべきで、手ぬるいが、議会は市民感覚を考慮すべきではな</p>	<p>我々議員も足りない部分があったと思う。以後、しっかりと意見を言い、議論するつもりである。</p>

<p>いのか。</p>	
<p>住民監査請求について、これは議会が動かないので、住民監査請求に至ったのであって、今後は議会も協力してほしい。また、議員もしっかりやってほしい。</p>	
<p>ジュオンが破産した後、議会議員は具体的に何を行動していたのか、また、市民オンブズマンへの議会の対応は、どうだったのか聞きたい。</p>	<p>100条委員会の設置は、議会で否決された。議会は、ジュオンが破産に至るまでの検証を行った。執行者から、補助金返還をしない為にも事業継続をしたい、との説明があったので見守っていた。住民監査請求は、監査委員会で棄却された。</p>
<p>今後、同じ様な問題があった場合のチェックは、議会、執行者はどうするのか。この種の補助金返還命令は、他の市町でもあるか、また調査をしたのか。</p>	<p>熊本県御船町。返還命令（3億円）があり、町長が訴えられているが、庄原市のジュオンの場合と事情が異なる。</p>
<p>ジュオンは信用できる企業ではなかった。最初から失敗する事業だったと思う。市長は発言の中で市民に迷惑をかけないと発言されている。補助金総額は4,500万だったのではないか。なぜ市が立替えをするのか。木山市長は、何もしていないのではないか。市民の6割は事情が理解できていない。市長は、市民に金を払うことを要請されているのか。</p>	<p>エタノールを生産する浄化液は布野で生産されていなかった。市も認めている。市が計画した事業なので、不正でも、市が歳入して会社に補助したので、適化法に基づいて市が返還する。</p>
<p>機械がプラントとして動く状態でなかったと聞かす。</p>	<p>製造ラインの中間に動かない機会が設置してあった。</p>
<p>中間に動かない機器があれば製品はできない。前の市長が現職の時に免職するべきだったと思う。納得できない。選挙で信を問うべきと思う。市民は、かやの外だ。</p>	
<p>実績のないプラントを導入するのに、議会はよく賛成できたものだ。知見がなかったから責任がないということはどういうことなのか。公費を使って試験して製造する方法はいかなるものか。</p>	<p>材を3万トン集積することができるのか、製造物（エタノール）についても可能なのか、何回も市長を質してきたが、答弁で、できると言われてきた。全体では賛成してきている。</p>
<p>一部の人が異論を唱えた。議会の議決責任は大である。補助金返還がなければ問題なしと聞こえるが、そうではないと思う。知見がない場合は、専門家の力を借りて議決機関の責任を果たさなければならない。トラウマになって消極的になっては困る。</p>	<p>最終報告では、意見をしっかり踏まえて報告を出したい。補助金返還だけではない。プラントが機能しないなど問題点を列挙することができる。私個人的には、2億円余りは、農政局の責任として返還しなくても良いのではないかと思っている。この事柄を通して議会も姿勢を質していきたい。</p>

動いていないのに認めたということだと思うが、完成していたのか。	担当者が何時間か稼働させ、製品はできたと言っている。
議会は、執行者の説明だけで了解したのか。疑念をもつ。	どういう内容なのか深くは関わっていない。
市長のやることだから認めたという議員もいたと聞いた。市民の立場から考えて取り組んでほしい。	そういう考えを持たれるのも当然だと思う。最終報告に向けてしっかりした審査ができるよう、専門家等の知見の活用も取り入れたい。最近、市民の立場からだめなものはだめだと言える議会に変わってきている。
バイオマス事業は、市民にとってわかりにくい。本当にこの事業が成功すると思っていたのか。	事業者（ジュオン）の資金不足により、最終的に破産となったもので、当初の説明では、財政も豊かで優秀な会社と説明があり、有望と思っていた。
完了検査は、専門家に依頼すべきで、市職員で本当に検査できたのかどうか。	そのように思う。今後、議会も気をつける必要がある。
過去を振り返っての話ではなく、国の責任、執行者の責任、議会の責任問題もはっきりすべきではないのか。	執行者は、誰も責任をとっていないし、議会にも責任があると思う。市民から監査請求が出ている事実もある。
被害者は、市民であり、議会は大いに責任を感じるべきと思う。	
議会責任がないなら、誰も責任を取る者がいない。当然、推進した方が取るべきであるが、どうなのか。当時の計画は、アサヒビールの材木を搬出するというものであって、市民の為に林業振興になっていなかったのではないのか。	議会としても特別委員会最終報告の中で整理が必要と考える。
事前調査をして、事業に取りついたのか。今後、特定の利益ではなく、農林業の市民全域の振興に寄与するかどうかの点で、判断して欲しい。	執行者から十分な情報提供がなかったことと、トンネル事業ということで十分でなかったことは否めない。
最終的には、執行者の責任は問われているが、議会の責任はいつ報告するのか。	現在行なっているのは中間報告。執行者から提案を受けた段階で、どのような手立てを講じることができたかなども含め、特別委員会の最終報告までにまとめていく。
100条委員会をなぜ設置しなかったのか。	100条委員は何でもできるわけではない。設置を求める意見もあったが、当時としては不可能であった。
議会はセレモニーか。執行者提案は全て承認するのか。	議会改革も進んでおり、セレモニーにはなっていない。執行者の提案に修正案を出すなど、成長してきている。
最終的には市の補助金は無かったのか。	市の予算からの補助金支出はない。
最終的には誰が責任を取るのか。	議会は執行権がなく、責任をとることができ

	ない。民間の訴訟も注視していきたい。
今回の問題を教訓として活かしてほしい。100条委員会をつくって、政治的背景を明らかにしてほしい。	
木質バイオマスの件、市民の税金を使ったのだが、滝口市長の責任をどのように考えられているのか。	滝口市長の責任は、議会中に本人から給与の1カ月分のカットといった申し出があったが、議会として到底納得できないとして認めなかった。
議会として、再発防止の考えについて伺いたい。	過ちを絶対に繰り返してはならない。山林の活用といったことは間違いではなかった。専門的知識が欠如していた。これからは、専門的知識のある方の助言をいただきながら、再発防止に努めたい。議会としての認識の甘さはあった。当初はトンネル事業との話を鵜呑みにしていた。そうしたところは議会責任を感じている。
バイオマス施設整備の中で、機械の設置をしていたのだが、エタノールの件などは議会として勉強したり、大学に行って調べたりしたのか。	議会として勉強不足は否めない。後から工場内を見て、これで製品ができるのか疑問であった。エタノールの件は、単価的に高く実用化は難しいと感じていた。
早く責任の所在を明確にしてほしい。	議会としては、前市長に責任があると判断している。議会責任については、これからの経過を含めて判断していく。
最終的には市民が支払わなければならなくなった。その決断を議会がした。それについてどう考えているのか。	誰が負担をするかは未定。今後の状況を踏まえ最終的な判断をする。
物事を始めた人が責任を果たすのが当然である。	さらに審議を行い判断し、最終報告を行う。

(2) 国民健康保険税の引き上げについて

質疑・意見	会場での回答
医療費は抑えられないのか。投薬されても使い捨てなどの無駄がある。	庄原市は一人当たりの医療費が県内で3番目に高い。必要以上の薬をもらわない、ジェネリック薬品を利用する、健康寿命を保つために、今年度からシルバー健康体操を取り入れた取り組みを進めている。そのことで医療費を抑えることができる。
日赤に行ってジェネリックを下さいといったら、「うちでは扱っていない」と言われた。日赤に対して要請してほしい。	日赤にジェネリックを使ってもらうよう要請する。
滞納者は何人くらいいるのか。督促をするのか。	約600人。納入をお願いしている。
収入のベースをどこにおいての値上げなのか。なぜ、議会が可決したのかははっきりしてほしい。	国の交付金の減少、前期高齢者の減少による交付金の精算による減額、県内で一人当たりの医療費が高いランクにあること、財政調整基金の枯渇など。
今後、介護保険料、後期高齢者医療保険料についての値上げも連動するのか。	そうなると思う。
年金暮らしの中から税金の支払いが苦しい。	
受診したとき、ジェネリックにするか新薬にするか尋ねられた。市として、全ての医療機関へジェネリックの使用を啓発してほしい。	啓発（お願い）はしている。
年金暮らしをしている。非常に苦しい。来年度以降の引き上げをしないよう要望する。	努力する。
75歳以上も人間ドックの対象にしてほしい。	執行者へ伝える。
高齢者の介護保険の手続きの時、通帳のコピーを出せと言われ出したが、なんで面倒なことをさせるのか。通帳の表の部分と、2か月前までの残金分かる部分も、と言われた。	実務のほうでどのような扱いをしているのか、議員のほうで把握していない。調べて回答させていただく。
私は本人ではなく、家族（倉敷在住）のことで調査が来た。通帳の残高が分かるものという調査であった。個人の収入・資産が分かるものを出せと言われた。1000万を超えると減額するとしていたものがなくなるとのこと。	持ち帰り調査し、振興区のほうへお知らせする。
国民健康保険の広域化とは何か。	3年後には県単位の広域化がされるようになる。
国民健康保険税の引き上げについて、2カ年の見通しであったが、もっと長期に考えるべきではないか。	国保税だけではやっていけないので、県単位の広域化への動きがあり、2～3年を考えている。

<p>国保税を抑えるためには、健康づくり運動をすべきではないか。ガン検診を受ける運動等をしっかりしてほしい。</p>	<p>長野県の鎌田先生の努力などを見習うべきと思う。また、保健師をふやす運動も必要である。ジェネリックについても、ともに運動していきましょう。</p>
<p>今が健康づくりに力を入れるチャンスと捉えていくべきである。</p>	<p>協力しましょう。</p>
<p>基本的に自分の健康は自分で管理し、守るという市民意識の向上が必要であり、今回の利率改定の措置に同意する。受診し、通院する際、複数診療科、複数の病院（医院）で診療を受ける市民も多いと判断するが、対策は。</p>	<p>指摘されている内容は重要な課題であり、1人の患者が主治医に服薬の現状について、服薬中の全薬品を持参して服薬の効果、適正について指導を受けることが改善の開始になる。無駄な投薬が大量に継続されていると想定され、 unnecessary 医療費が支出されていることになっている。</p>
<p>今回の料金値上げで、何年もつのか。</p>	<p>3年を見込んでいる。3年程度で、国保についての県単位の広域化へ見通しがつくと思うが、全てに国庫補助金をもらって市政運営をしていくことは、今後の若い世代に全てを負わせることになる。</p>
<p>健康について、少しでもアイデアを出すことで、市民を刺激してほしい。他市の例で、オムロンと提携して歩数計を市民へ配り、頑張った人に賞品を出すとか、楽しいことを考えてほしい。</p>	
<p>薬の管理をしっかりと、飲まなくてよい薬と、必ず飲む薬を考えるべき。</p>	
<p>国民健康保険事業の中で、集団健診・健診内容によっては、無料なのか。</p>	<p>健康増進の目的で、基本料金は無料だが、オプションは個人負担である。</p>
<p>医療費が増加する中で、たとえば病院にかからない市民に対してポイント制度の採用を考えてほしい。</p>	<p>しっかりと執行者に報告して、検討してもらおう。</p>
<p>加入者が約1000人の減少傾向で仕方ないが、多くの医療機関を利用する市民には、個人負担を求めべきであり、健康な市民に対しては、優遇措置を検討してほしい。</p>	<p>委員会で検討するし、執行者へ要望する。</p>
<p>議員は政務活動費を半分に、保険税の引上げ分に使うべきである。</p>	<p>市民に対して負託に応えるために、しっかりと調査・研修し、資質を高める。</p>
<p>今回の引上げの報告については、人口減少など現状を受け止めて余り質疑がなかったが、今後においては、少しでも市民の負担にならない様に要望があった。</p>	<p>市民も日常生活において、しっかりと健康増進に努めてほしい。</p>

<p>北自治振興センターでは、「協働の力で笑顔が輝くまち」をテーマに地域が支え合って取り組んでいるし、お互いに毎日の生活の中で健康に気をつけている。議会としても、こうした取り組みをモデル事業として全市に推進してほしい。</p>	<p>本年度から、日赤病院における人間ドックの全体枠を拡大すると共に、特定健診を無料化するなど、健康増進の取組みが進められている。</p>
<p>国保税の問題は、構造的な問題。利用者が多く、数年は特に問題となっているが、他の健保から持ってきてても限界があると思う。庄原市が特にという政策はあるのか。</p>	<p>健康診断を積極的にすすめて医療費の圧縮を考えている。庄原市も、もう少し早く健康診断に取り組んでいく必要があったと思う。</p>
<p>今後、国保税の支払い方を検討する必要があるのではないかと。高くなると、未納者が増すばかりと思う。例えば、回数を多くするとか。</p>	<p>持ち帰り執行者へ伝える。</p>
<p>国保税の値上げは、財政調整基金から出すのではなく、一般会計から出すほうがよいのではないのか。もう少し議論があって然るべきと思う。</p>	<p>議会ではしっかりと議論をしたつもりだが、結果的に国保税の値上げになった。執行者は、特別検診によって今度の値上げを防ぎたいとのことである。</p>
<p>シュオン問題も国保税値上げも、あまりにも計画性が見受けられない。ずさんな計画に見える。しっかりと将来を見据えてやってもらいたい。</p>	<p>基金がなぜこのような状態になったのかという原因は、高齢者の増加と、市民の低所得の多さがあると思う。平成30年に県単位の広域化になるのでなんとかなるのでは。</p>
<p>財源を他市では一般財源から繰り入れもしている。</p>	<p>庄原でもその意見はあったが、議会では否決となった。</p>
<p>27年・28年度の推計分なのか。</p>	<p>推計は2年分である。平成30年度より県が保険者になる。国の負担率は半減している。100万以下の収入の方が50%を占めている。国が1,700億円を入れた。30年には1,700億円を入れるが、引き下げにはならない。これ以上のアップは委員会としても認められない。</p>
<p>自己負担金も払えない時代がくるのではないかと。</p>	<p>集団健診1000円の無料化。健康づくりに取り組む。</p>
<p>最低の医療保険である。自営業者にとって、引き上げは大変。短期、資格証明書を出している人はどのくらいおられるのか。</p>	<p>昨年6月1日現在、資格証110件、短期証95件。滞納割合については、軽減世帯50%。そうでない世帯50%となっている。短期証の人には面談を要請しお願いをしている。他の税も同じように滞納になっている例もある。</p>
<p>市は、国保は助け合いの組織だといわれるが、そうではなく、社会保障の制度でやることを、しっかり位置づけて、やさしい市政、安心して病院にかかることができるようにしてもらいたい。</p>	<p>国に対する意見も考えながら、引き上げはこれで最後にしたいと思っている。</p>

<p>社会保障だということを市の職員に認識を改めてもらいたい。一人当たりの医療費の要因を考えられたのか。引き上げるべきだったのか。しっかり審査されているのか。</p>	<p>前期高齢者、70才以上2割になっていく。診療報酬の引き上げなどが要因となっている。</p>
<p>もう少し要因を説明してもらえば、理解できる。</p>	
<p>後期高齢者の対策がどうなるのか心配だが、情報がない。</p>	<p>持ち帰って執行者に伝え、確認する。</p>
<p>一般会計からの繰入をなぜしなかったのか。</p>	<p>一旦、繰入を始めると青天井になるため。</p>
<p>西城町では誕生日検診を推進してきた。自治振興区と協力して予防に取り組んで欲しい。検診データが県平均と比較して悪い。何が原因なのか、情報が欲しい。糖尿などの検診結果が悪い。減塩とスポーツの啓発をすべきではないか。血液検査で癌がわかるアミノインデックスの検査費18000円を、鳥取県や島根県では無料化している。西城病院でも実施してほしい。</p>	
<p>後期高齢者に検診補助金が無いのか。</p>	<p>国保事業からの補助はない。</p>
<p>医療費の推計では27年度、28年度減額しているのが、どの様な理由か。</p>	<p>特定検診を無料化し、受診者が100人ふえた。また、健康福祉祭の開催などをとおして、医療費が抑制されることを見込んで推計されている。</p>
<p>介護保険で要支援者への対応は。</p>	<p>リハビリ体操の啓発など、介護予防に努める。食生活の見直しなど、自身でできる取り組みも広めていきたい。</p>
<p>さまざまな事業が実施されているが、保健師の負担が限界にきている。保健師が少ないのではないのか。</p>	<p>シルバーリハビリ体操の指導者を160人確保するといった取り組みが行なわれるなど、住民みずから健康増進に向けて取り組む動きもある。保健師の配置については、今後も増員を提言していく。</p>
<p>国保税の引き上げについて、引き上げを回避する手立てについて、議会として検討したのか。</p>	<p>常任委員会としても保健医療課と話をしてきた。医療費が高止まりなので、引き上げをせざるをえない。これからは、健康づくりを本気で考え、医療費を下げる努力を市民みんなで考えていく必要があると思う。市民の皆様の健康づくりをし、健康を守ることで、結果医療費を抑える。そうした予算は組んである。適正受診ができていいのか、県内で4番目に高い医療費である。その辺を考えてみなければならない。</p>

(3) 意見交換（地域別テーマ）について

質疑・意見	会場での回答
【庄原地域 高地区】 避難計画について	
高地区では高小学校、小用地区では永末小学校が避難場所となっており、避難方法や経路等を話し合っている。各地区の避難場所の増設等に予算措置できないか。	地元で話し合ったことを市にあげていただければ、前進していく。議会でも応援していきたい。
政務活動費は必要と考えるが、報告書・決算についても公開しているか。	会派で活動報告をするとともに、収支報告書はインターネット上で公開している。報告書についてもインターネット上で公開していく。
政務活動費を利用して海外へ行ったと聞かすが、その報告もきちんと行なわれているか。	会報の発行、報告会等で報告している。
【庄原地域 本村地区】 空き家対策について	
庄原市は、定住対策に魅力がないので若い人達が住み難い。最も重要な、住み良い環境づくりと町づくりをしっかりと推進してほしい。	議会としても、市民の声をしっかりと受け止めて執行者と協議していく。
庄原市の魅力づくりをどのように整理するのか、又、地域づくりも高齢化が急速に進み、地元を守ることが困難になっている現状の支援対策をどうするのか。	庄原市の重要課題である、少子高齢化の現状を執行者と一緒に協議していく。
各地域に農業法人化を推進しているが、地域だけの取り組みは無理があり、行政区全体で推進する方向性を示してほしい。	行政・JA等の関係機関と一緒に協議して方向性を見出していく。
国においては、空き家対策に対して特別措置法を法制化したか、庄原市として地元協議をどのように進めて行くのか。	
地元要望として、崩れかけた空き家が沢山あるので最優先に考えてほしい。	
【庄原地域 峰田地区】	
財政見直しは、執行者も議会も、考えたことはないのか。	執行者も少しずつ見直している。議会も委員会などで議論している。
【庄原地域 敷信地区】	
プレミアム付き商品券について、一定期間が過ぎると市外の方に対しても販売すると聞かすが、どうなのか。市内の人が潤うのが、本来の目的ではないのか。市外の大手企業のみが得をするのではないのか。	政府の政策で、地方創生の景気対策の一つである。市外の人を買われても、庄原で買い物をされるので、地域の景気対策になる。
【庄原地域 東地区】 三日市駅周辺の環境整備について	
現在、三日市駅を利用する格致高校生は約30名いる。トイレがない。防犯灯がない。生徒の安全を守るためにぜひ協力してほしい。	

【庄原地域 山内地区】 自治振興センター施設等の見直しについて	
放課後子ども教室等を自治振興センターで実施しているが、その建物の耐震診断はどうなっているのか。また、使用中に地震等による事故が起きた場合、誰に責任があるのか。早い時期に対応してほしい。	それぞれの建物は、全体計画の中で考えている。この内容は執行者にも伝えるし、現場からの声もあげてください。
地域が小さくなっていくが、議会も応援してほしい。	我々も頑張るので、地域もよろしく願います。
各自治振興区の規模に沿って、振興区への交付金を変えるべきではないか。	そのようになっていくと思う。頑張るところへ予算がいくようになると思う。自治振興区の頑張りによって、全市がよくなってくる。
市内各地に建物が未使用のまま放置してあるが、これらを利用していくのか。	まず、壊すことのできるものは壊し、利用できるものはしっかり利用する。
【庄原地域 北地区】	
超高速情報通信網整備の住民への説明会が、自治会単位で行われている。申請手続きなど高齢者向けの説明が不十分であり、改めて丁寧な説明が必要である。	先般、総務財政常任委員会で担当課の出席を求め、説明会の進捗状況や問題点を協議した。引き続き、今回の意見をしっかりと受け止め対応したい。
各地域に公表している通信網整備事業の完成年度を早めてほしい。	
庄原市が推進している通信網整備事業など、全体の基盤整備事業を完成させ、全国から魅力を感じ注目される市を目指してほしい。	
【西城地域 西城地区】 地域包括ケアシステムについて	
	※地域包括ケアシステムの構築にむけて説明。西城地域は県内でモデル地域となっている。現状がどうか。
このシステムでは無理がある。要支援者の希望する方法・場所で生涯を終えることができるようにしてもらいたい。	
市民として伝えておきたい。私の考えだが、資料にある団体が月1回西城町では話し合いを進めている。議員は1回も出席されていない。市は人だけを配置するだけではないか。地域の具体的な実情を把握して取り組んでほしい。	
資料が不十分なのではないのか。本気なのか。疑問に思う。本気にやってほしい。	
合併による打撃が大きかった。なぜこうしたことになったのか。八針地域80歳代74人、0～80歳40人の人口動態となっている。定住より	定住促進に力を入れる。執行者にも伝える。

か移住促進といった方がよいのか分からない（仕事が必要）。このことを最重点課題として取り組んでほしい。	
【西城地域 八鉾地区】	
本市において糖尿病患者が多いのはなぜか。	
西城地域は、保育所1、小学校2、中学校1、高校1である。小学校もまとめ、小中一貫校の検討をしてみるべきだ。	
人口減少、定住促進対策として移住促進に力を入れるべきである。日南町においては、人口の5%が移住者である。地域おこし協力隊の任期明けにおける受け皿対応が必要であり、最大の課題は就業の場の確保である。	
【東城地域 東城地区】	
	※昨年度伺っていた課題について、回答を読み上げ報告した。
【東城地域 小奴可地区】 農家民泊への市の対応。空家対策特措法への市の対応。	
地域に増加している空家対策について、小奴可地域でも増加しており、地域生活者に危険性を増大させている。廃屋状況になった空家が生活道交通の妨げになっている。市行政としての対策はできないか。	国の法整備が促進され、近隣自治体でも対策が具体化している。庄原市の場合も、執行者が問題意識をもち、対応システムを検討中である。議会としても、この執行者の行動を促進するよう対応する。
議員の政務活動費の活用状況はどのようになっているか。	※出席議員（垣内、林、福山）から、それぞれの会派の活用内容を報告。昨年報告会でも同種の質問があり、海外視察、国内視察、議員の研修会参加、議会情報の発行、会派の議会報告会の開催など、それぞれの会派の取組を報告。
【東城地域 八幡地区】	
地域づくりは、議員さんが専門性を持っているので、議会全体でテーマを考えて検討してほしい。	それぞれの議員の立場で、将来の地域づくり・まちづくりを考えていく。庄原市にある、小規模県立高校の存続をしっかりと要望していく。将来的の地域に必要なコンパクトシティが、どうあるべきかを考えていく。
【東城地域 田森地区】	
庄原市の誇りは、文化と自然である。神楽を舞う設備も考慮してほしい。文化（地域）の残る政策もお願いしたい。	
民泊について聞きたい。現状など。地域への説明も聞きたい。	民泊は、商工観光課と観光協会が企画している。広島への修学旅行生へPRをして、庄原へと広島県が薦めているもので、現在110軒くらい受け入れを申し出ておられるが、200軒を目

	標にしている。自然豊かな地の利を生かして、子どもたちの声を聞き、高齢者の励みになればよいのではと思う。
【東城地域 久代地区】 市民に開かれた議会運営の推進について	
久代から小学生17名が東城小学校へ、また中学生5名が東城中学校へ通学している。この子どもたちが18歳になったら投票権を得ることになるが、選挙法が変わり、高校生への啓発が必要だ。行政と地域と議会がどのような関係を持ったらよいのか。模擬議会など可能か。	これまで模擬議会をしたことがある。可能である。
生の議会を傍聴したいがなかなか行くことができない。特別委員会・各委員会などの傍聴はできるか。	自由に傍聴できる。
イントラネットで配信するのか。	本会議は配信している。ただし、画像音声とも不十分だ。ただし、録画をDVD化して無料で貸し出ししている。活用してほしい。その他の委員会などは現在していない。情報発信の方法について、今後検討する必要がある。
久代地区も少子化が進んでいる。今後、東城町内の小学校の統廃合が進むのか心配だ。	
	※昨年度、要望として出された、市道久代中央線改良工事の早期完了と市道高野線の改良工事の早期着工について。長期総合計画・実施計画により実施することと、高野線については同計画への計上について検討することを伝えた。
【東城地域 新坂地区】 自治振興センター体育館屋根修繕について。新坂自治振興センターアクセス道路整備について。県道三原東城線の道路改良について。	
前年度の要望に先ず答えてほしい。	県道については、県と市が協議して改良方向に進んでいる。市道谷弘線については、第2次長期計画に入れて進んでいます。
新坂自治振興センターは災害時における避難場所として改良してほしい。	そのように市長に届けます。
市道紙谷線が3年目になるのに、50mぐらいしか進んでいない。どのようになっているのか。	後日回答する。
市道相原線の維持管理をしてほしい。草刈りはなんとかしていますが、立木伐採は地元住民の高齢化によりできなくなっている。	担当課へつなぎます。

市道の枝切り、草刈りの単価を上げてほしい。なんとか地元住民でやっていますが、いつまでもできるとは思えない。市道の管理については、市との話し合いでやって行こうと思いますが、市が直接管理してほしい。	用心して作業して、できるだけ市との話し合いをやってください。
新坂自治振興センター上の元新坂小学校体育館の屋根を修繕してほしい。	担当者に伝えます。
帝釈峡が観光地として生かされていない。	
<b>【口和地域】</b>	
市全体の空き家対策について、具体的な施策を出してほしい。	庄原市の課題であり、議会全員で全国の事例を研修して執行者と協議していく。
有害鳥獣対策の対応をしっかりと検討してほしい。また、捕獲した肉の処理・加工施設を建設してほしい。	
こうした市民の要望に対して、市役所内で専門の課を設置してほしい。	
<b>【高野地域】 定住対策について</b>	
庄原市の定住対策は、何が目新しいのか。住宅対策、インフラ整備も含めて。	自治振興区に対応する人を設け、1ターンに成功している口和地区の例もある。
高野地区に市営住宅の空きがない。相談すると他地域の空き部屋と言われた。答えになっていない。(高野に住みたい人であるから)	若い人に住んでもらえるような住宅政策が必要かもしれない。
水道について、区域外は無理と言われる。本当に水がほしいのは区域外にもいる。	持ち帰り執行者へ伝える。
テレビ共聴組合は、人口減で負担が増しているので困っている。負担減対策を考えてほしい。	持ち帰り執行者へ伝える。
<b>【庄原地域 特設会場：ジョイフルながえ】</b>	
市職員の研修について、とても機会が少ないと思うが、議会として言っているのか。	議会として常々言ってきている。
議会報告会で執行者の代弁を行うのはおかしい。	この場所は議会報告会であり、執行者提案を議会としてどの様に受け止め議論をしたかを報告している。
庄原駅前をにぎわいある街にしてほしい。市営住宅を50棟建てるなど。	議会としてもしっかりと提案し、執行部に伝える。
マイナンバー制度について、市の対応が遅れているのではないか。	執行者は順調だと考えている。そもそも、国、県が遅れている実態がある。執行者のほうからも国、県へ要望するよう伝える。
長期総合計画は空論ではなく、実行性のある内容にして欲しい。1ターン、Uターン、環境づくり、外国人受入などの施策を充実させ、庄原の特性活かして欲しい。	議会としてもしっかりと注視し、執行者に提案をしていく。

## 6. 意見・要望等

### (1) 議会へ対する質疑・意見・要望

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>自治振興センターの改修についての要望を議長あてに出したが、関係委員会へ付託したのか。現在は市民会館を間借りしている。独立したい。庄原市内ではここだけである。今の時期を逃したらチャンスはない。真剣に考えてほしい。</p>	<p>陳情と同じ扱いである。各地域の均衡がとれているとは言えない。今後議論していく事項である。</p>
<p>報告会の中身が希薄ではないか。経過報告は聞きたくない。執行者が来なければ意味がない。</p>	<p>市政懇談会でも執行者へ意見してほしい。</p>
<p>長期総合計画へ住民の願いはどれだけ伝わっているのか（委員へ西城から2名）。不安でいけない。10年の評価（良い点、悪い点）を明確にしてほしい。</p>	
<p>斎場建設について、西城は廃止となるが、どのように論議されたのか。</p>	
<p>3年後、合併特例債は廃止となるが、財源にどのようなことがおこるのか。</p>	
<p>新規事業の当初審査を確実に行ってほしい。最初に過ちを防ぐべきである。</p>	
<p>特別委員会最終報告では、責任を果たす具体的な方向性を明確にしてほしい。</p>	
<p>政務活動費を活かした施策を展開してほしい。</p>	

(2) 行政へ対する質疑・意見・要望

質疑・意見・要望	
庄原地域 庄原地区	以前、総合福祉センター建設計画があった。中止となっているが、総合福祉センター、生涯学習センター、自治振興センターを統合したものを建設するよう要望する。
	駅前整備計画が13億円の予算で進んでいるが、これまで事業者1社、民家1軒が転出された。この予算が活かされたものになるよう進めてほしい。県営住宅などの移転なども考えられる。
	高齢化が進んでくるので、街中に移住することを勧めるコンパクトシティ化を進めてほしい。富山市など視察研修も検討されたい。
	日赤に行ってジェネリックを下さいといったら、「うちでは扱っていない」と言われた。日赤に対して対応してほしい。
庄原地域 本村地区	現状の中で、空き家にならないよう道路整備・生活環境整備を充実してほしい。
	適正な消防団員の確保の為に、しっかりと関係機関と再編成を協議してほしい。
庄原地域 敷信地区	後期高齢者の対策について、市民へ情報提供をしてほしい。
庄原地域 山内地区	放課後子ども教室等を自治振興センターで実施しているが、その建物の耐震診断はどうなっているのか。
庄原地域 北地区	国道432号にある「須川トンネル」「田の平トンネル」は、勾配・法線・冬季の凍結・照明等に問題があり、交通事故も多く整備改良を進めてほしい。
西城地域 八鉾地区	日南町や大東病院では、血液検査によるがん検診が行われており、身体的な負担が軽い中で、早期発見に効果をあげている。本市でも実施の検討をして欲しい。
	基幹産業を農業、林業と提唱しながらも、予算編成においては軽んじられている。推進するのであれば、それなりの予算措置をすべき。特に林業における一般財源は有害鳥獣駆除が大半である。
東城地域 田森地区	庄原市の誇りは、文化と自然である。神楽を舞う設備も考慮してほしい。文化（地域）の残る政策もお願いしたい。
東城地域 帝釈地区	地域包括ケア、リハビリ体操など、全て自治振興区に負担がかかってくる。これ以上負担がかからないよう配慮してほしい。
	県道東城庄原線は計画には上がっているようだが、早急に工事改良を進めて欲しい。
東城地域 久代地区	久代地区も少子化が進んでいる。今後、東城町の小学校の統廃合が進むのか心配だ。
	75歳以上も人間ドックの対象にしてほしい。
	市として、全ての医療機関へジェネリックの使用を啓発してほしい。
口和地域	県道新市三次線の要望はどうなっているのか。（自治振興区から市へ要望を出している）
	永田金田線はカーブも多く、歩道もない。そのため冬季は、児童生徒の通学路にならない。庄原市へ要望書を出しているが、回答がない。
高野地域	国保税の未納について、国保税の支払い回数を多くしたほうがいいのか。
	給水管敷設地域へ隣接する世帯に対し、給水をするように配慮すべきではないのか。
	難視聴世帯への対策として共聴施設があるが、構成員の減少、老朽化などの状況が発生しており、支援が必要である。

## 7. 今年度議会報告会の検証結果

庄原市議会報告会実施要綱第10条に基づき検証を行った。

### (1) 開催時期等について

#### ●実施状況

- ・7月3日～24日（6月定例会閉会后）
- ・年1回
- ・原則平日の19:00～21:00  
特設会場（ジョイフル） 10:30～12:00、14:00～16:00

#### ★検証結果

- ① 次回も6月定例会閉会后、市政懇談会が始まるまでの7月中に実施する。
- ② 開催時刻は、原則19時から2時間で実施する。ただし、各班において、地元の意向を優先し、地域の実情を勘案しながら柔軟に対応する。
- ③ 特設会場については、7月以外の時期にも追加して実施してもよい。その場合は、報告内容を変える。懇談会形式での開催も検討してみる。

### (2) 開催会場の設定数について

#### ●実施状況

- ・22会場（庄原8、西城2、東城7、口和1、高野1、比和1、総領1、特設1）  
特設：ジョイフルながえ

#### ★検証結果

- ① 次回も市内21会場を基本に実施する。開催会場は減らすべきでない。
- ② 特設会場は、ジョイフルに限らず検討・設定していく。複数会場、高校生へのアプローチも検討してみる。

### (3) 報告内容等について

#### ●実施状況

- ・木質バイオマス利活用プラント整備補助事業について
- ・国民健康保険税の引き上げについて
- ・意見交換（地域別テーマ）について

#### ★検証結果

- ① 具体的な内容は、次期開催の検討時期に決定する。
- ② 報告内容（市民への説明内容）について、開催前に議会内で予行練習をして、議員間の意思統一を図って報告会へ出て行ったほうがよい。

#### (4) 班編成について

##### ●実施状況

- ・3名又は4名で構成し、5班編成（前年度の常任委員会単位）

##### ★検証結果

- ① 現行を基本とする。ただし、3名の班は、他班の議員に協力（記録者）を求めて4名体制をとることも可とする。

#### (5) 記録について

##### ●実施状況

- ・班員（記録者）による要点記録

##### ★検証結果

- ① 次回も現行どおりで実施する。

#### (6) 時間割について

##### ●実施状況

時間配分は2時間以内で各班自由に設定

- ・開会あいさつ
- ・議会報告・質疑・意見交換
  - (1) 議会活動報告
  - (2) 質疑応答
  - (3) 意見交換（地域別テーマ）
- ・閉会あいさつ

##### ★検証結果

- ① 次回も現行どおり2時間で実施する。
- ② 報告件数にもよるが、報告・質疑で1時間、意見交換で1時間を設定する。

#### (7) 配布資料・パワーポイントについて

##### ●実施状況

- ・報告資料を配付
- ・パワーポイントを作成。ノートPC、プロジェクター、スクリーンを使用して射影。

##### ★検証結果

- ① 資料については、報告事項が決定した後、議運で協議する。

## (8) 周知方法について

### ●実施状況

- ・行政文書（全世帯へ配布）6月19日
- ・広報車による周知（庄原地域のみ実施 開催当日）
- ・オフトーク/防災行政無線放送（支所へ依頼）

### ★検証結果

- ① 次回も現行どおりで実施する。
- ② 東城・西城でオフトークを設置していない世帯があることを考慮しておく。
- ③ 光回線の告知システムの導入状況を見て、告知方法を決定したほうがよい。
- ④ 議員自らが、より多くの市民に報告会へ参加してもらえよう、働きかけを行う。  
特に地元議員は、地元で声をかけてまわったほうがよい。

## (9) 報告会全体の運営について

### ★検証結果

- ① 前年度の「行政への要望」の執行者回答を、各会場で必ず報告するよう、班長会議等で確認、徹底すること。次第にも入れたほうがよい。
- ② 会場において、議員は責任を持って発言をすること。議会として答えられないことは、はっきりと答えられないと発言すること。想像で説明をしない。求められる以外で個人の意見を言わない。
- ③ 議会報告会は市議会が主体的にやるものであるが、「報告させていただきます」といった感覚がある。開催する地元にしても、協力して行っている会場もあれば、議会が勝手に行っているんだという会場もある。共催という形がいいのかどうかかわからないが、地元と協力してやっていくべき。そうしないと、まちづくりとしてよい方向に進まない。